

【速報】ミャンマーの最新情勢（8月10日） ～ヤンゴンから～

2021年8月10日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

ミャンマー国内全土に渡る新規コロナウイルス感染拡大を受けて、在ミャンマー日本国大使館は7月16日に8月中のANA便の利用による一時帰国の検討を強く勧めるよう配信しました。8月1日より在外日本人に対して成田空港にてワクチン接種が可能になったことから、ワクチン接種のため一時帰国する駐在員が増えています。国家統治評議会は、7月17日以降を新型コロナウイルス感染症対策のため公休日に指定し、現在は8月15日まで公休日が延長されています。この公休日の期間中は、生活必需品の購入等を除く外出自粛や、医療、銀行業務等を除く活動制限が要請されています。7月26日以降は、日本企業は在宅勤務や工場再開しているところが多いようです。8月に入り中国製ワクチンの接種が再開され、酸素供給の逼迫は解消されつつありますが、厳しい感染状況と医療体制は続いています。

①テレビ

国軍系放送、国営放送、民間放送については、2月2日の状況通り。民間の大手衛星放送「SKYnet」では、多くの海外放送のニュースチャンネルが視聴できなくなっていますが、「NHKプレミアム」と「CCTV4」は視聴できます。海外放送では、スポーツや音楽、映画チャンネルのうち、FOX系、HBO系が視聴できなくなっています。

②インターネット

光回線やWIFI(ワイヤレス・ブロードバンドサービス)、携帯電話データ通信などは復旧しており、深夜の遮断もなくなっています。ただ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNSは閲覧できなくなっています。携帯電話データ通信では、政府が許可するアプリ(ZOOM、LINEやSkype等約1200)のみアクセスが可能になっています。

③電話その他通信関係

いずれの携帯電話会社も通話及びSMSは問題なく使用できています。

④日常生活での支障

大型ショッピングセンターの「ジャンクション」「ミャンマープラザ」内店舗の食料品等生活必需品取扱店以外は7月17日の公休日以降休業しているところが多いです。大手流通小売り「City Mart」、タイ系小売り・卸「Makro」や大型ホームセンター「PRO1」などは時短で営業しています。宅配デリバリーサービスは、多くの店舗で利用可能となっています。

「GrabFood」と「GrabMart」は午前8時から午後7時まで営業しています。ヤンゴン市内レストランではコロナ感染対策により7月5日から店内飲食が禁止されテイクアウトのみとなっています。一般のローカル市場及びコンビニエンスストア、一般店舗などは、食料品等生活必需品を取り扱う一部店舗を除き7月17日の公休日以降休業しており、一部7月26日以降営業再開するところが出てくるも、休業しているところが多いです。

中央銀行は市中銀行すべてに対し、ATMでの一回の引き出し額を50万チャット(約33,262円)まで、口座からの引き出し額を、一週間で個人は200万チャット(約133,050円)まで、企業は2000万チャット(約1,330,500円)までと制限する通達を発表しました。ただ、一回の引き出し可能

金額は、金融機関や各支店により異なっており、20 万チャット(約 13,305 円)から 30 万チャット(約 19,957 円)ぐらいのところが多いようです。

行員の感染などにより作動していない ATM が多く、ATM 前は以前よりも行列ができていますが、ATM の現金補充は追いついておらず、現金引き出しは困難な状況が続いています。

市中銀行については、整理券を配布し窓口業務が再開していますが、行員の感染により営業店舗が少なく、営業時間も短くなっています。日本からの送金も問題ありませんが、米ドル現金引き出しは難しい状況が続いています。

2 月 8 日にヤンゴン地域における公共の場での 5 人以上の集会禁止令が、5 月 4 日に同地域における午後 10 時から午前 4 時までの夜間外出禁止令が発表されています

⑤日系企業の対応

従業員が感染する企業が多く出ており、7 月 17 日の公休日以降休業するところが多かったようですが、7 月 26 日以降は従業員の健康状態をみながら在宅勤務を開始する企業が増えてきているようです。

⑥公共交通機関

<国際線・国内線>

国際線旅客機の着陸禁止措置は続いています。各国からの救援便、貨物便などは運航されています。ミャンマーから日本への商用便として、全日空直行便、クアラルンプール経由・週 3 便、仁川経由・週 2 便 に限られており、出国の際は陰性証明書が必要となっています。シンガポール政府から、7 月 16 日以降次の発表があるまで、過去 21 日間にミャンマーに滞在歴がある渡航者のシンガポールへの入国及びシンガポールでの乗換えを禁止する旨発表がありました。

国内線は、コロナ感染拡大により一部運航停止している航空会社もありますが、便数は少ないものの運航されているようです。

<バス>

ヤンゴン市内バスは減便運航されてきていましたが、7 月 17 日の公休日以降大幅に運航数が減っています。

<タクシー>

一般タクシーは通常通りですが、燃料費の高騰により値段は上がっているようです。大手配車アプリ GRAB タクシーは、7 時～20 時まで営業しています。

⑦物流

国際宅配便 DHL、EMS ともフライト状況で発送・着送されるようです。国内物流は動いていますが、燃料費の高騰により、輸送費が上昇しています。タイ国境などへの物流も基本的には稼働しているようです。港湾局の業務は通常通り行われており、海上輸送、輸出入に関しては 船の便数、コンテナ数が大幅に減少しており、燃料費の高騰なども重なり、輸送費が以前の 3 倍近くになっているようです。航空貨物は動いているようです。

⑧工場稼働状況

8 月 9 日のティラワ工業団地内工場は、3～4 割程度、ミンガラドン工業団地内工場は 8 割程度が稼働しているようです。また、ラインタヤ工業団地内の工場、シュエピータ工業団地内の工場も多くが稼働しているようです。いずれも、従業員の健康状態に合わせ、各社就業時間、出勤者に配慮しながら対応しています。

【大阪産業局ミャンマービジネスサポートデスク】

受託事業者: J-SAT Co., Ltd. 代表取締役 西垣 充

#1210, 12A Floor, Sakura Tower, No.339,

Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar

バックナンバー https://www.obda.or.jp/events/ibo_events_all/overseas-from-myanmar